

## 【平沢和重奨学基金の概要】

平沢和重奨学基金は、国内外での活躍が期待される学生に、1年間に渡る米国留学の機会を無償（\*1）で提供すべく40年以上運営を続けています。

戦前戦後にニューヨーク領事やNHKのニュース解説員として活躍した外交評論家（故）平沢和重氏の遺志を受け継ぐ形で創設された本奨学基金は、平沢氏が外交官補時代に語学力のみならず議論・討論・講演の技術を身につけたアメリカ東部・メイン州にあるベイツ大学に毎年1名の奨学生を派遣しています。

ベイツ大学はアメリカ屈指の名門リベラルアーツ・カレッジ（\*2）として知られ、1855年の創立以来、特にパブリック・スピーキングやディベートなどのコミュニケーション分野で傑出した伝統を誇ります。平沢奨学生としてはこれらの科目に関わる授業を受けることが必須となる一方、文系・理系・芸術系を問わず他のあらゆる授業も選択可能です。

約40名を数える奨学生のOB・OGは、三井物産、三菱商事、マッキンゼー、AT カーニー、JP モルガン証券、ソニー、日立製作所、リクルートといった民間企業だけでなく、財務省、外務省、NHK、国際協力銀行、世界銀行、日本赤十字などにも就職しています。

その後のキャリアにおいても、コロンビア大学（アメリカ）、サセックス大学（イギリス）、ボッコニ大学（イタリア）といった海外大学院への進学、経営者への転身を果たしたケース等を含めてグローバル且つ多彩な方面で活躍するOB・OGが多く、独自の個性豊かなコミュニティが形成されています。

\*1 選考を経て合格した1名はベイツ大学での授業料、寮費、食費（食堂での食事分）を免除とし、渡航費と個人的な生活費のみの負担で1年間留学していただくことができます。

\*2 リベラルアーツとは、幅広い分野の学問を横断的に学ぶ教育課程のことで、人文・社会・自然科学に留まらず芸術や音楽をも包含します。授業は少人数制が主体で教授と生徒の距離が近いこと、学生の大半がキャンパス内の寮で暮らすため共同生活の中でのあらゆることが学びとなるのも魅力の一つです。ベイツ大学は近年STEM教育にも力を入れており、文理の枠を超えて実践的な教養を身につけることを可能としてくれます。

## 【平沢和重氏について】

戦前にニューヨーク領事に就任するなど外交官として活躍した平沢和重氏は、1949年からの26年間NHKのニュース解説員を務め、国際情勢をわかりやすく伝える存在として人気を

博しました。その後はジャパントाइムズの主幹や三木首相のブレーンなどとして国際間及び日米両国間の相互理解と親善において多大な貢献を果たしたことで知られています。

1964年に開催された東京オリンピックを誘致する際には、IOC に向けて招致演説を行う大役を全うしました。その演説が高く評価されたことで東京オリンピックが実現したと言われるなど、聴衆に向けて説得力ある論を展開する能力に長けていましたが、「胸は祖国におき、眼は世界に注ぐ」との言葉を遺した通り、日本人が広く世界に目を向け、国際舞台において力強く主張できるようになることを望んでいました。

\*NHKの大河ドラマ『いだてん〜東京オリムピック噺』（2019年）にて俳優の星野源氏が平沢和重役を演じたことは話題になりました。

そうした平沢和重氏の遺志を汲み、夫人の平沢朝子氏が主体となってベイツ大学とともに100万ドルの資金を集めて(\*)1980年に立ち上げたのがこの平沢和重奨学基金です。日本国籍の学部生を毎年一人ベイツ大学に派遣し続ける一方、1984年、1991年、1998年には国際的なトピックを取り上げて議論する平沢シンポジウムを開催しています。

\*募金委員長=米国側：The late Mr. Edmund Muskie（元国務長官、ベイツ大学卒）、The late Mr. Cyrus Vance（元国務長官）、日本側：(故)牛場信彦、(故)平沢朝子

参考リンク先

Bates College ホームページ：<https://www.bates.edu>

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/BatesHirasawascholars/>

Instagram ページ：<https://www.instagram.com/hirasawaatbates/>

わふわふさんのベイツ大学留学ブログ（第38代平沢奨学生、2018-2019）：  
<https://seasaw72.hatenablog.com/>

ほずみ@ベイツ大学（第40代平沢奨学生、2021-2022）：[https://note.com/hozumi\\_m54/](https://note.com/hozumi_m54/)